

熊川哲也 Kバレエカンパニー

Spring 2022

Tetsuya Kumakawa
K-BALLET COMPANY
Spring 2022



浅川紫織



高橋裕哉



日高世菜



堀内将平



山本雅也



石橋 燐也



小林美奈



成田 紗弥

2月6日(日)
発売開始!

2022年 6/1(水)~5(日) Bunkamura オーチャードホール

日程 開演	6/1(水) 14:00	6/2(木) 14:00	6/2(木) 18:30	6/3(金) 14:00	6/4(土) 13:00	6/4(土) 17:30	6/5(日) 13:00
カルメン	浅川紫織	成田紗弥	日高世菜	小林美奈	成田紗弥	浅川紫織	日高世菜
ドン・ホセ	高橋裕哉	山本雅也	石橋燐也	堀内将平	山本雅也	高橋裕哉	石橋燐也
エスカメーリョ	杉野 慧	堀内将平	栗山 廉	杉野 慧	堀内将平	杉野 慧	栗山 廉
ミカエラ	飯島望未	吉田早織	岩井優花	山田夏生	吉田早織	飯島望未	岩井優花

〈料金(税込)〉S席 ¥15,000/A席 ¥11,000/B席 ¥8,000/C席 ¥6,000
A親子席 ¥15,000 ※大人1名+子供1名(5歳以上小学6年生以下)(A席エリア)
学生券 ¥3,500 ※中学生以上25歳以下/当日学生証を提示の上引き換え/席位置未定
※A親子席・学生券はチケットぴあWEBのみ取り扱い

〈お問い合わせ・ご予約〉

チケットスペース 03-3234-9999

指揮: 井田勝大 管弦楽: シアター オーケストラ トーキョー

〈チケット取り扱い〉

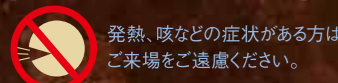
チケットスペース 03-3234-9999 (オペレーター対応) [チケットスペースオンライン](#) [検索](#)
TBSチケット [TBS 熊川](#) [検索](#)
Bunkamura チケットセンター 03-3477-9999 (オペレーター対応)
オンラインチケット MY Bunkamura [MY Bunkamura](#) [検索](#)
チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/k-ballet/> (Pコード: 510-319)
ローソンチケット <https://l-tike.com/k-ballet/> (Lコード: 36210)
イープラス <https://eplus.jp/kumakawa/>

※キャスト予定は2022年1月20日現在。出演者の病気や怪我など、やむを得ない事情により変更となる場合があります。最新のキャスト情報は <https://www.k-ballet.co.jp/> にてご確認ください。公演中止の場合を除き、実施するすべての公演に関して、主演者をはじめとするキャスト変更に伴うチケット代金の払い戻し、公演日や券種の変更は原則としてお受けできませんので、あらかじめご了承ください。○公演中止の場合の旅費、チケット送料等の補償はいたしません。○本公演は5歳以上の入場が可能です。但しお席は必要です。○演出上開演後の入場は制限させていただく場合があります。○開場は開演の45分前。

主催: TBS 特別協賛: 大和ハウス工業株式会社 協賛: SL Creations
オフィシャルエアライン: ANA 協力: Bunkamura 制作: K-BALLET/TBS

Photographs: Makoto Nakamura / Hidemi Seto / Shunki Ogawa / Ayumu Gombi

【ご来場のお客様へのお願い】



発熱、咳などの症状がある方はご来場をご遠慮ください。



劇場内ではマスクをご着用ください。



「TBSコロナ連絡サービス」のご登録をお願いいたします。(ご来場の皆様全員にお願いしております)

本公演では消毒液などを使用した清掃、劇場内の換気を強化します。

その他ご来場の際のお願い、本公演における新型コロナウイルス感染症対策の詳細・最新情報につきましては、Kバレエカンパニー公式HPをご確認ください。



愛は人を狂わせる

カルメン

Production/Choreography Tetsuya Kumakawa Music Georges Bizet
Original Scenario Henri Meilhac/Ludovic Halévy (Based on the novel by Prosper Mérimée)
Set Design Daniel Ostling Costume Design Mara Blumenfeld Lighting Design Hisashi Adachi

熊川哲也が傑出した創造性で紡ぐ衝撃のグランド・バレエ、2022年6月開幕!

情熱の赴くままに生きる魔性の女カルメン、愛の狂気へと堕ちてゆく男ドン・ホセ——
ビゼーの名作オペラの世界が熊川哲也の手により

全く新たなグランド・バレエとして世に送り出されたのは2014年。

すでに数々の古典バレエ改訂等で揺るぎない評価を獲得していたなか、

さらなる高みへと向かうべく踏み出したのが、

オペラという異なるジャンルに題材を得てのオリジナル作品の創出だった。

運命の恋人たちの狂おしくも美しい愛憎の顛末を、熊川は非凡な音楽性のもと、

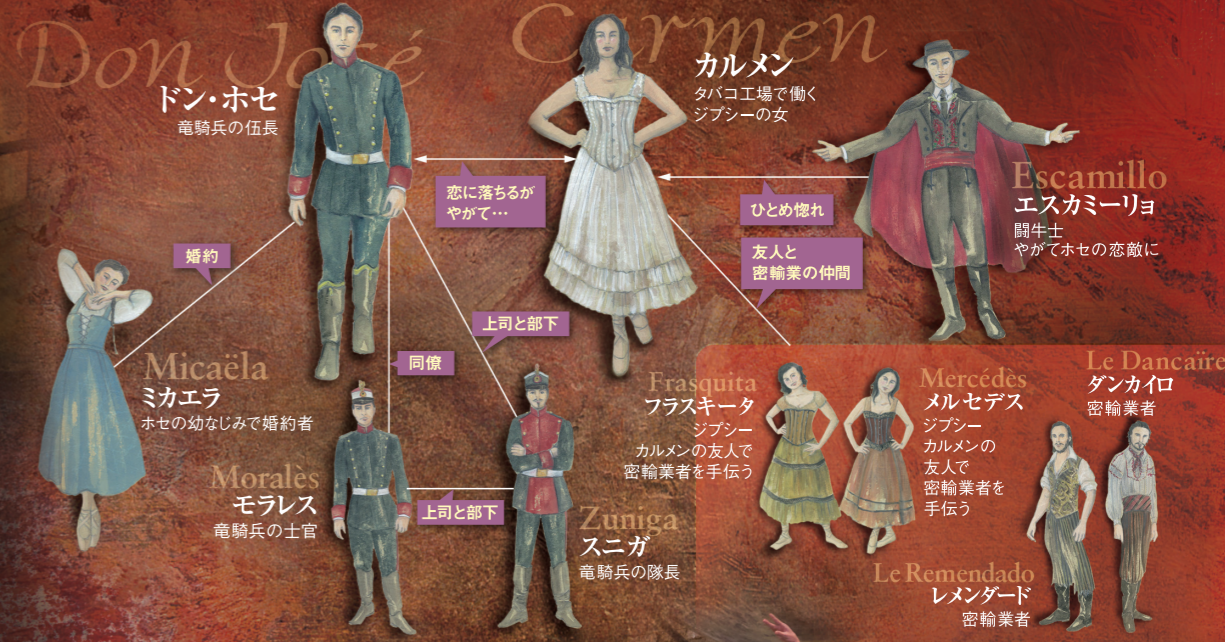
キャラクターの個性際立つ多彩な舞踊の連鎖によって、鮮やかに、スリリングに描き出す。

ダンサーたちの身体が歌となりセリフとなり、また感情となって織り上げられていく、

その圧倒的なドラマ性は、場面ごとに姿を変えるリアルにして心象的な出色の舞台美術と相まって、

“言葉のない総合芸術”の奥深くも豊かな魅力を実感させる。

グランド・バレエの可能性を押し広げ、オペラ愛好家をも唸らせた衝撃のステージが、3年ぶりに!



Kumakawa's Production of "Carmen"

Story

舞台は1800年代前半、スペイン・セビリア、タバコ工場前の広場に女工たちが現れる。なかでも最も人気が高いのはカルメンだ。言い寄る男たちを思わせぶりにかわし、カルメンは生真面目に業務をこなす竜騎兵の伍長ドン・ホセに近づき、気を引こうとする。無関心を装いながらも彼女に心奪われる自分に動揺するホセ。そんな中、ホセを幼なじみのミカエラが訪ね、故郷の母からの手紙を渡す。やがて工場で喧嘩が起こり、カルメンが兵に捕らえられる。自分を逃がしてほしいと見張りのホセを口説くカルメン。その誘惑に負け、縄を緩めたその途端、彼女は逃げ去っていく。

酒場ではカルメンや密輸業者たち、闘牛士のエスカミーリョらが賑やかに踊っている。カルメンを訪ねて店にやって来たホセは、恋焦がれていた彼女との再会を果たす。だが、甘い時間もつかの間、律儀に帰営しようとするホセに、カルメンは一緒に自由な暮らしを誘う。ホセは上官スニガに責められながらも、カルメンと共に生きるためならばと密輸業者の仲間に加わることを選ぶ。愛のために道を踏み外したホセ。だが、何ものにも縛られないカルメンの愛は、長くは続かなかった...



【演出・振付】熊川哲也
【音楽】ジョルジュ・ビゼー
【原台本】アンリ・メイヤック/リュドヴィク・アレヴィ(フロスヘル・メリメの小説による)
【舞台美術デザイン】ダニエル・オストリング
【衣裳デザイン】マウラ・ブルーメンフェルト
【照明デザイン】足立 恒

Kバレエの歴史を担った名バレリーナ・浅川紫織、新時代の名花・日高世菜はじめ、豪華4キャストが競演!

キャスト発表時から最も大きな注目を集めているのはやはりこのサプライズ。2018年、惜しまれながら第一線を退いた浅川紫織の4年ぶりの全幕主演だ。魂で踊るこのバレリーナは常に物語の世界を“今ここにある真実”であるかのように感じさせ、観客の心を強く揺さぶらずにおかない。稀有なる芸術性でKバレエの歴史を輝かせてきた熊川のミューズが、また忘れ難い名演をここに刻んでくれることだろう。一方、昨年カンパニー史上初のプリンシパル入団を果たして以来、圧倒的な存在感を示しているのが日高世菜。その得がたい美しさは「完璧なバレリーナの象徴」と熊川に言わしめるほど。新たな名花が魅せる演劇的バレエでのさらなる境地に期待は高まる。浅川×高橋裕哉、日高×石橋奨也、小林美奈×堀内将平、成田紗弥×山本雅也——カンパニーを代表する顔ぶれが名を連ねる主演4キャストはいずれも見逃せない!

